



## 「中村地区浸水対策施設」完成記念式典を開催

～東京都下水道局と練馬区の連携事業～

と き 2月4日(月) 午前10時～11時

ところ 中村南スポーツ交流センター(中村南1-2)

平成25年1月、中村・豊玉地区の浸水対策を目的とした貯留管(貯留量約25,000 m<sup>3</sup>)が、豊中通り地下に完成した。これを記念した記念式典が、4日、中村南スポーツ交流センターで行われ、除幕式のほか、当日は練馬区の浸水対策工事の説明や、下水道局の貯留管工事に関するパネル展示などが行われた。

また、会場のスポーツ交流センター前では、雨水ますが葉や泥などで詰まった状況を再現する「雨ますくん」模型の実演が行われ、スポーツセンターの利用者などが模型の前で足をとめ、雨水ますの効果を見学していた。

区では、近年のゲリラ豪雨等による浸水被害から区民の安全な生活を守るため、さまざまな浸水対策工事を下水道局とともにやっている。平成25年度は、より迅速かつ適切な水防活動を行うため、石神井川にかかる道楽橋(向山4丁目)に、河川水位の監視カメラを設置する予定。



【式典・除幕式の様子】



「雨ますくん」模型の実演

### 【浸水対策工事とは】

集中豪雨による河川や下水道管の処理能力を超えた雨水を、埋設した貯留施設に一時的に取り込むことで、浸水被害を軽減させるための工事。



工事の様子(豊中通り地下)

### 【中村・豊玉地区の浸水対策】

練馬区の治水対策は昭和57年頃から、雨水の流出を抑える「流域対策」として始まり、雨水流出抑制施設の整備を進めている。

近年では、今回完成した貯留管(貯留量約25,000 m<sup>3</sup>=学校のプール約70杯分)のほかに、平成18年度から区道や区立中村中学校・区立学田公園の地下に貯留槽(貯留量約4,000 m<sup>3</sup>=学校のプール約11杯分)を設置し、地域の浸水被害の軽減対策を行っている。

### 【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部 土木部 道路公園課 工事係 電話 03-5984-1348